

西九州大学 健康福祉学部

分科会②

スポーツ健康福祉学科

准教授

いちかわ ひろし
市川 浩

分野	スポーツバイオメカニクス
研究テーマ	水泳選手の泳動作と推進メカニズム、 センサを使った身体運動評価
キーワード	競技スポーツ、泳技術、推進力、身体運動評価、 センシング技術
所属学会等	日本体育・スポーツ・健康学会、 日本バイオメカニクス学会、日本機械学会、 日本臨床バイオメカニクス学会、 日本水泳・水中運動学会、九州体育・スポーツ学会 など



特記事項

URL : <http://er.nisikyu-u.ac.jp/DYU0160?ri=210>

西九州大学 健康福祉学部

分科会②

スポーツ健康福祉学科

講師

かつき ひでのり
甲木 秀典

分野	スポーツ心理学、障がい者スポーツ、 コーチング学
研究テーマ	組織キャンプにおける子どものコミュニケーションスキルおよびメンタルヘルスに関する研究、車いす陸上競技における競技力向上に関する研究
キーワード	スポーツ心理学、コーチング学、 障がい者スポーツ
所属学会等	日本野外教育学会、日本アダプテッド体育・スポーツ学会、 九州スポーツ心理学会、九州体育スポーツ学会



特記事項

URL : <http://er.nisikyu-u.ac.jp/DYU0160?ri=123>

【佐賀県の競技スポーツを支える科学的アプローチ】

西九州大学は佐賀県と連携協定を結び、佐賀県の競技スポーツを支援する取り組みを行っています。今年度10月には神埼キャンパスに「スポーツ健康科学センター」を設立し、佐賀県のアスリートの体力測定を始めました。

競技スポーツの世界において、アスリートは厳しいトレーニングを積み重ねることでその身体能力を高めていきます。ところが能力がある程度高くなると思うように伸びなくなってくるので、トレーニングやコンディショニングの効果をチェックし、そのやり方でいいのかを確認する必要が出てきます。オリンピックやパラリンピックに出場する日本代表選手は、国立スポーツ科学センターという研究施設でいろいろな身体能力を測定・評価することで、「自分の身体能力がきちんと伸びているか」「うまくトレーニングできていないところはどこなのか」を確認し、トレーニングやコンディショニングの仕方を見直していきます。西九州大学は佐賀県の協力の元、国が行っているこのような取り組みを参考に、“身体組成・形態”、“筋力・筋パワー（写真1）”、“運動能力”、“エネルギー産生能力”などのあらゆる身体能力を測定する機器を揃え、日本代表選手が受けている体力測定と同様の環境を準備しました。佐賀県の各競技団体からいろいろな話を聞き、必要な測定項目を決め、アスリートに本学まで来てもらって測定しています。また競技会や合宿などのトレーニングの場にお邪魔して、身体能力やパフォーマンスを評価することもあります（写真2）。測定・評価した結果はできるだけその場でアスリートの皆さんにお伝えするようにしています。さらに国内トップ選手のデータと比較することで、自分の強みや伸びしろがどこにあるかを知ってもらい、トレーニングに活かしてもらっています。

今回の分科会②ではこの取り組みについて紹介するとともに、今後どのように展開していくかについてお話しします。



写真1. 西九州大学スポーツ健康科学センターで脚筋力・筋パワーを測定している様子



写真2. 陸上競技のパフォーマンス分析のためにSAGAスタジアムで撮影している様子

【高校生のみなさんへメッセージ】

ここで紹介する取り組みはSAGA2024以降も継続される予定です。佐賀県のスポーツ支援は新たな段階に入ったと言えます。アスリートとして活用することはもちろん、将来、支える側の立場になる選択肢も持ってもらえると嬉しく思います。